

AWS ITXパートナーSCSKがお勧めする VMware環境から クラウドへの速やかな移行パスのご紹介

SCSK株式会社
ソリューション事業グループ
クラウドサービス事業本部 事業推進部

2024年9月17日

飯尾 孝幸
(いいお たかゆき)

【主な経歴】

- ・商社系SIerにて
DC、プライベートクラウド企画販売
- ・コンサル系SIerにて
アカウント、BPO、AWSセールス担当

- ・AWS愛が凄いSCSKにて
AWSセールス担当

【好きなAWSサービス】

QuickSight, Redshift, Lambda

AWS Summit Japan(24/6/20~21)での一幕



SCSK企業紹介

社名 : SCSK株式会社
(住友商事系システムインテグレータ)

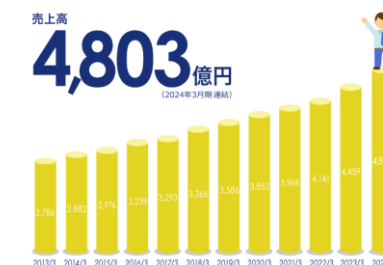
設立 : 1969年10月25日

資本金 : 21,420百万円

売上高 : 4,803億円 (連結/2024年3月末)

従業員数 : 16,296名 (連結/2024年3月末)

取引所 : 東京証券取引所 プライム市場



ビジネスに必要なすべてのITサービスをフルラインアップでご提供

SCSKの総合力

コンサル
ティング

アプリケー
ション開発

検証
サービス

BPO

インフラ
構築

クラウド・
データセンター

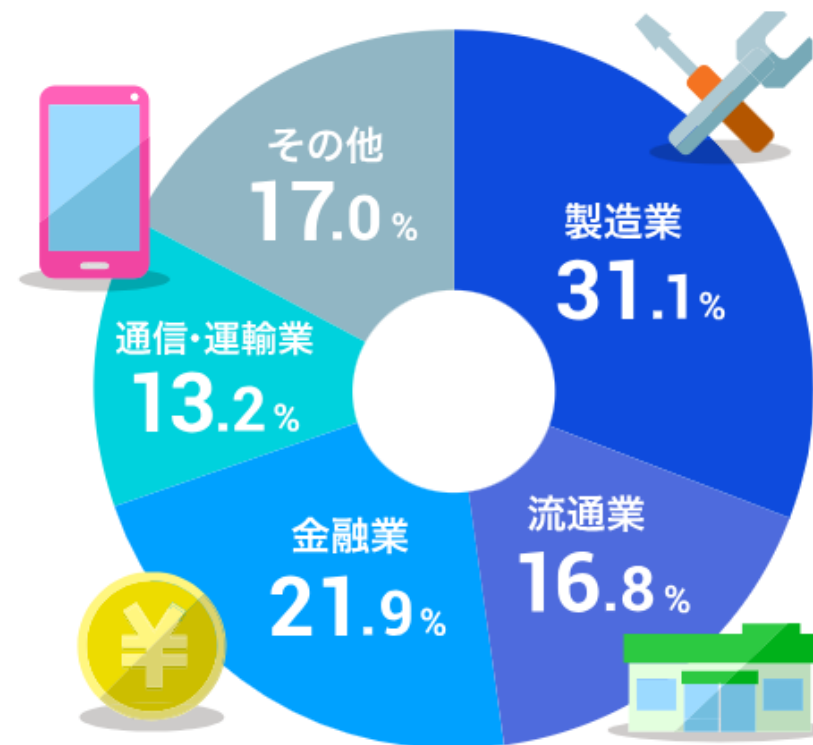
運用・監視

ハード・
ソフト販売

顧客業種別の売上高構成比

お客様
約 **8,000** 社

(2024年3月期)

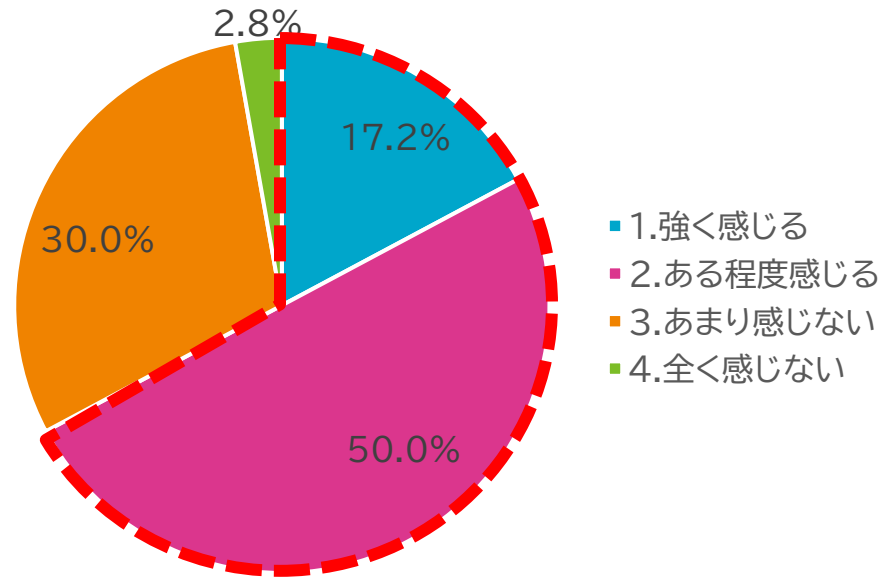


お客様がクラウド移行を検討される背景 (当社認識)

● 経産省DXレポート2.0/2.1「2025年の崖」

従来のシステムにIT人材を浪費、攻めのIT投資に要員を回せず、最大12兆円の経済損失を生むとの予想が発表されている。日本企業がデジタル競争の敗者となる危機が迫っている。

レガシーシステムがDXの足かせとなっているか

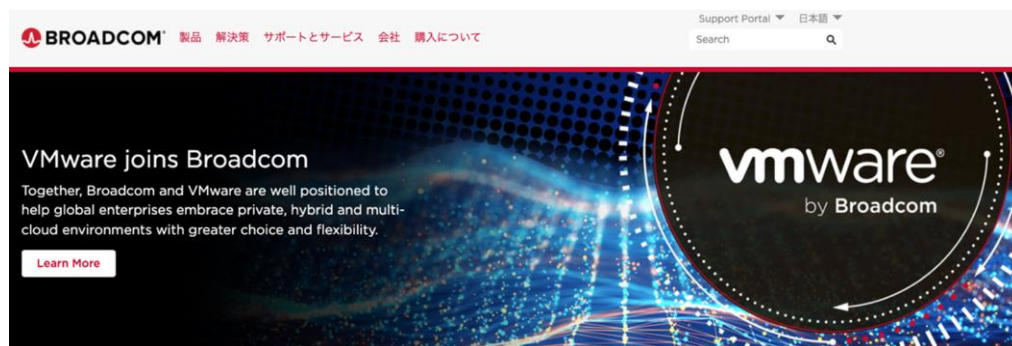


日本企業の**約7割**が**レガシーシステム**が
阻害要因となり、**DX**に**踏み切れていない**

(※1)IPA「デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進に向けた企業とIT人材の実態調査」:
<https://www.ipa.go.jp/files/000082054.pdf>
をもとに作成。

「レガシーシステム対応」と「DX対応」を並行して対応する必要がある

Broadcom による VMware 買収を機に、グローバルで VMware 側の組織体制が大きく変わり、今後提供される製品ポートフォリオの刷新、ライセンス販売形態の変更 が発表されました。



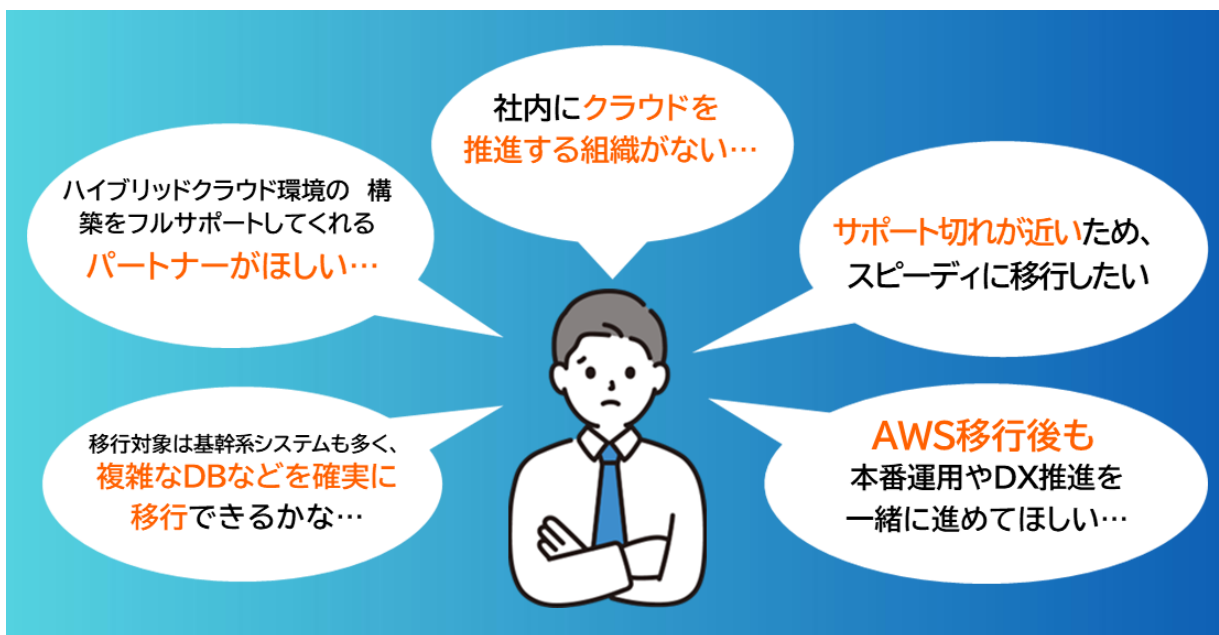
- 1: ライセンス買い切りからサブスク形態へ移行
- 2: ライセンスカウント方法の変更
- 3: OEM ライセンスの販売と保守が停止

これに伴い、全ての VMware ユーザー様は、環境によっては次回のライセンス更新時に
料金改定の可能性があります。

現行インフラ環境見直しやクラウドへの移行を検討されるお客様が増えています

解決策としてクラウド化を検討されますが・・

～リフト＆シフトにおける悩み～



～ネイティブ化における悩み～



クラウド移行～有効活用に向け様々な課題をお持ち・・

SCSKは ITXでお客様のクラウドリフトを全面支援します！

AWS ITX for MCP SCSK版 オーバービュー

AWSの最上位パートナー

～ 2012年の日本上陸からのパートナー ～

【パートナーランク】

- ・ **プレミアティア** サービスパートナー



【各種AWS認定プログラム】

- ・ 認定パートナープログラム
 - ・ プレミアティアサービス
 - ・ AWS マネージドサービスプロバイダー
 - ・ コマーシャルセクターリセラー
 - ・ AWS 公共部門パートナー
 - ・ AWS ソリューションプロバイダープログラム
 - ・ AWS 公共部門ソリューションプロバイダー
 - ・ ISV Accelerate
 - ・ APN Immersion Days
 - ・ AWS Well-Architected Partner Program
- ・ 認定コンピテンシー
 - ・ Oracleコンピテンシー
 - ・ マイグレーション(移行)コンピテンシー
- ・ サービスデリバリープログラム(SDP)認定、他
 - ・ Amazon Redshift SDP認定
 - ・ Amazon Connect SDP認定
 - ・ AWS Direct Connect SDP認定
 - ・ Amazon EC2 for Windows Server
 - ・ Business Case Partner Program

豊富なAWS認定技術者

～ 述べ**2,000を超える**AWS技術者 ～



(2024年6月20日時点)

- ・ AWS表彰
 - 2024 AWS Ambassadors 2名
 - 2024 Japan AWS Top Engineers 8名
 - 2024 Japan AWS Jr. Champions 2名
 - 2024 Japan AWS All Certifications Engineers 40名
- ・ 有資格者数 延べ**2,495**
 - AWS認定プロフェッショナル/専門知識 866
 - AWS認定アソシエイト 964
 - AWS認定基礎 665
- ・ その他、オンライン資格: **1,446**
 - AWS Accreditation ビジネス 629
 - AWS Accreditation テクニカル 817

AWSの最上位パートナーであり、多くの認定技術者が在籍しています

エンタープライズ向けクラウド活用を促進することを目的に AWSとSCSKは、協業契約を締結しています

News Release



2023年10月23日
SCSK株式会社

SCSK、AWS と戦略的協業契約を締結
～提供体制を強化し、お客様のビジネスに貢献～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、アマゾン ウェブ サービス(AWS)^{※1}と、2023年10月から3年間の戦略的協業契約(Strategic Collaboration Agreement)を締結しました。

このたびの戦略的協業契約における3つの重点施策を推進することで、お客様のクラウドジャーニーを伴走型で支援します。

※1 Amazon Web Services : 本社 米国ワシントン州シアトル、CEO Adam N. Selipsky
本協業についてはアマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社(本社 東京都品川区、代表執行役員社長 長崎 忠雄)と締結。

1. 背景

クラウド市場は、コスト削減や業務効率化、さらにはクラウドが提供する最新テクノロジーの活用によるDX(デジタルトランスフォーメーション)の実現に向けて、お客様より利用が広がり、引き続き好調に推移しています。(年間成長率 20%程度^{※2})

AWS プレミアティア サービスパートナーであるSCSKは、AWS 東京リージョン開設と同時にAWS パートナーネットワークに参画し、800 社・団体に及び日本のお客様の AWS を活用したイノベーションや事業目標の達成を支援してきました。これまで培ってきた知見・経験を活かし、お客様のクラウドリフト&シフトを強力に支援するためには、より中長期での AWS との協業が必要と考え、このたびの契約締結に至りました。

※2 Gartner®, Forecast: Public Cloud Services, Worldwide, 2021-2027, 3Q23 Update, Colleen Graham et al., 28 September 2023, クラウド市場=Total Public Cloud Services, Worldwide, End-User Spending basis の2022年~2024年の年間成長率。
GARTNER は、Gartner Inc.または関連会社の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークであり、同社の許可に基づいて使用しています。All rights reserved.

2023年10月23日
プレスリリース

お客様の課題

- ・クラウドの活用を図りたいが、推進できるクラウドエンジニア不足
- ・DX実現したいが、ビジネスパートナーの要員枯渇で支援が得にくい

お客様課題へ
共同アプローチ

- ・クラウドエンジニア育成
- ・デリバビリソースの増強

- ・積極的なクラウド案件遂行
- ・LiftだけでなくShiftへ

- ・自社SOLのクラウド化
- ・最新技術の取り込み



- ・特別トレーニング支援
- ・グローバル事例展開

- ・案件遂行時の特別支援
(リソース費用/検証費用等)

- ・サービス開発支援
- ・最新サービス情報展開

SCSKはリフト&シフト対応、クラウドネイティブ対応の2つのITXを整備しています

ITトランスフォーメーションパッケージ

AWS + SCSKのソリューションで提供

ITX for MCP SCSK版

SCSKの付加価値を活かした
プログラム群を提供

クラウド リフト&シフト対応

クラウド ネイティブ対応

ITX for Cloud First

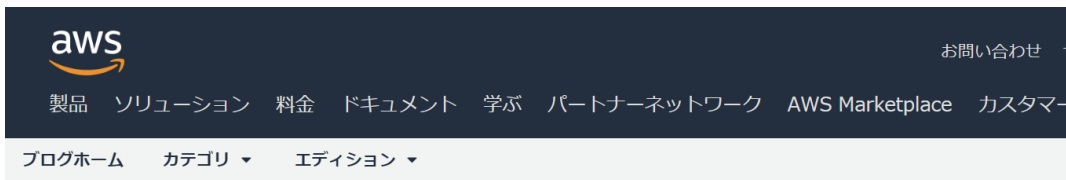
ITX for Cloud Native

ITX lite

ITX for PS

クラウド リフト&シフト対応
2023年4月20日 両社より発表(国内初)

クラウド ネイティブ対応
2024年5月8日



Amazon Web Services ブログ

AWS ITトランスフォーメーションパッケージ 2023 ファミリー (ITX 2023) – お客様の大規模なリホスト移行やクラウドネイティブ移行、中小規模のクラウド移行を支援する、新たな包括的クラウド移行支援プログラム

by Takuro Tomimatsu | on 20 4月 2023 | in Migration, Migration Acceleration Program (MAP), Migration Solutions | [Permalink](#) | [Share](#)

みなさん、こんにちは。マイグレーションスペシャリストの富松です。

AWSジャパンでは、AWSへの大規模なシステムの移行を実現し、ひいてはお客様のデジタルトランスフォーメーションをサポートする「[AWS ITトランスフォーメーションパッケージ \(ITX\)](#)」を2021年にリリースし、2022年には内容を強

AWS ITトランスフォーメーションパッケージ for MCP partner

Migration Competency Partner保有のAWSパートナーとAWSによる移行/モダナイゼーションの統合オファリング (以下はSCSKの場合)

クラウド移行決定

評価

準備

移行

SCSK提供ソリューション

AWS提供ソリューション

News Release



2024年5月8日
SCSK株式会社

「AWS ITトランスフォーメーションパッケージ for MCP SCSK版」が クラウドネイティブに対応 ～ 生成AIの積極的な活用によりお客様の業務変革を支援 ～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:富麻 隆昭、以下 SCSK)は、アマゾン ウェブ サービス ジャパン(以下 AWS ジャパン)とともに提供している、「AWS ITトランスフォーメーションパッケージ for MCP(Migration Competency Partner) SCSK版^{※1}」(以下 本サービス)について、お客様のクラウドネイティブ化への支援までサービス提供範囲を拡充し、2024年6月より提供を開始します。

※1 「AWS IT トランスフォーメーションパッケージ for MCP SCSK 版」の提供開始(2023年4月20日)
<https://www.SCSK.jp/news/2023/pdf/20230420.pdf>

1. 背景

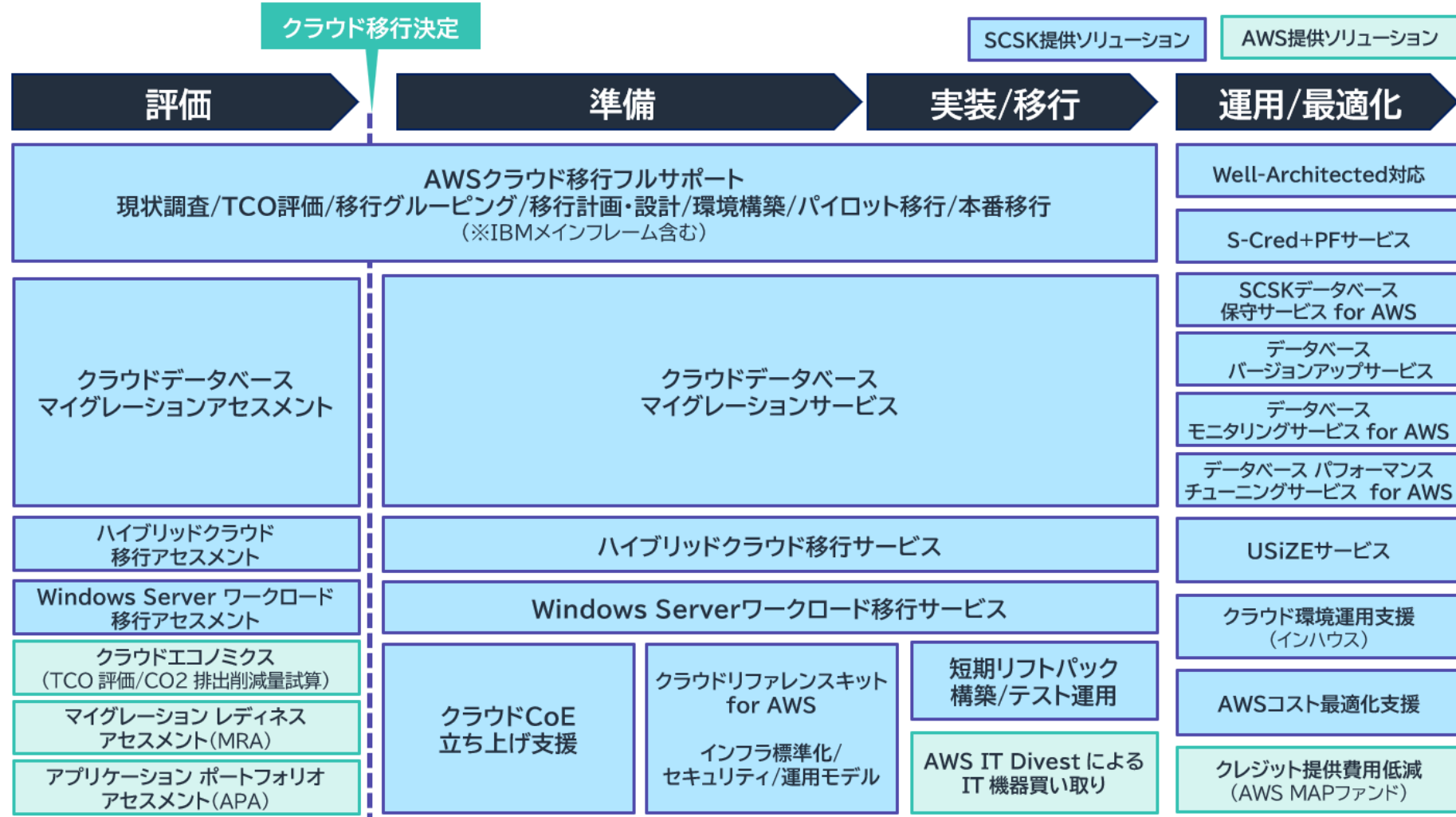
テクノロジーの急速な進化と市場環境の変化に応じて企業の競争力を維持するためには、システム開発、運用のリリースサイクルの改善などといった技術的なアプローチだけでなく、組織文化や業務プロセスの改善、人材育成を念頭に置いたクラウドネイティブアプローチ^{※2}が必要であり、体系的なソリューションが求められています。企業のクラウドに対するニーズが「リフトアンドシフト」から「クラウドネイティブ」へと移る中、SCSKは、AWS ジャパンが提供する「AWS IT トランスフォーメーションパッケージ」を活用した、お客様のクラウドネイティブ化をトータルで支援するサービスを検討してきました。

AWSも認める技術力、リソースが豊富及び総合力があることの現れ

ITX for MCP SCSK版 クラウドリフト&シフト対応

クラウドリフト&シフト対応 全体像

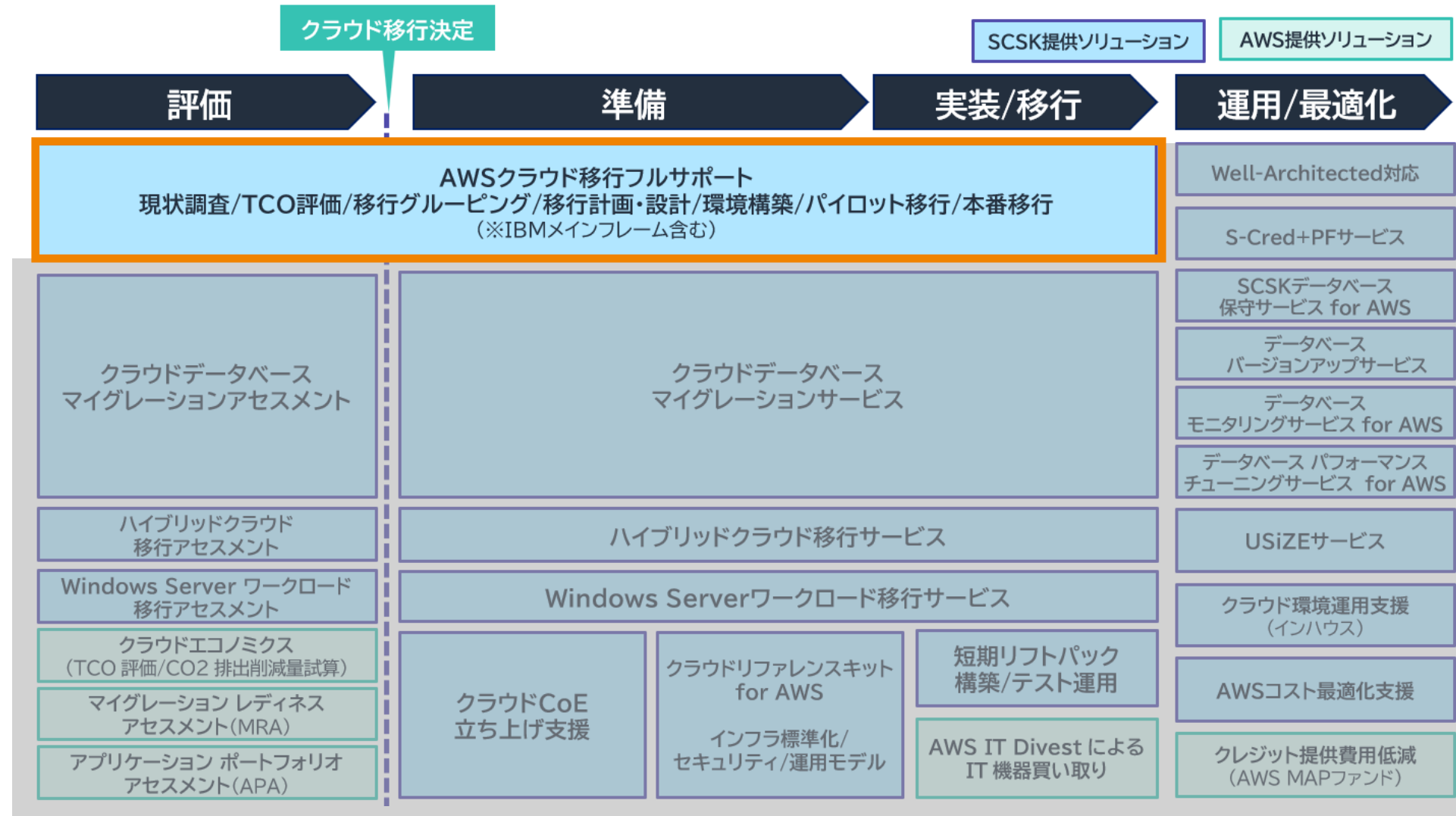
AWSとSCSKのソリューションを組み合わせ、お客様のクラウド移行を漏れなくご支援いたします



豊富なメニュー、及び対応できる幅の広さが特色

クラウド移行フルサポート

お客様のIT環境をクラウド環境に移行する際のフルサポートメニューをご用意しております



アセスメント

1.現状調査

- 移行対象のOS、システム構成など、移行パターン選択の根拠となる情報を収集。
- 停止許容時間など、移行作業のサービスレベル検討要素も確認。

2.移行パターン選択

- クラウドのタイプ(IaaS/PaaS/SaaS), 移行方式(MGN、新規構築)など、移行対象サーバごとの具体的な移行方法を検討。

3.移行先基盤の検討

- 移行後のAWS環境の効率的な維持運営のため、ネットワーク環境構築ルールの統一、バックアップ/監視などの各システム共通機能を集約。

移行

4.リソース キャパシティ検討

- 余剰コストをできるだけ抑えるため現状のキャパシティ調査を行い最適なリソースを検討。

5.パイロット移行

- 移行に必要な時間(停止時間含む)、トラブルなどを洗い出し本番移行作業に備えたパイロット移行を実施

6.移行プラン作成

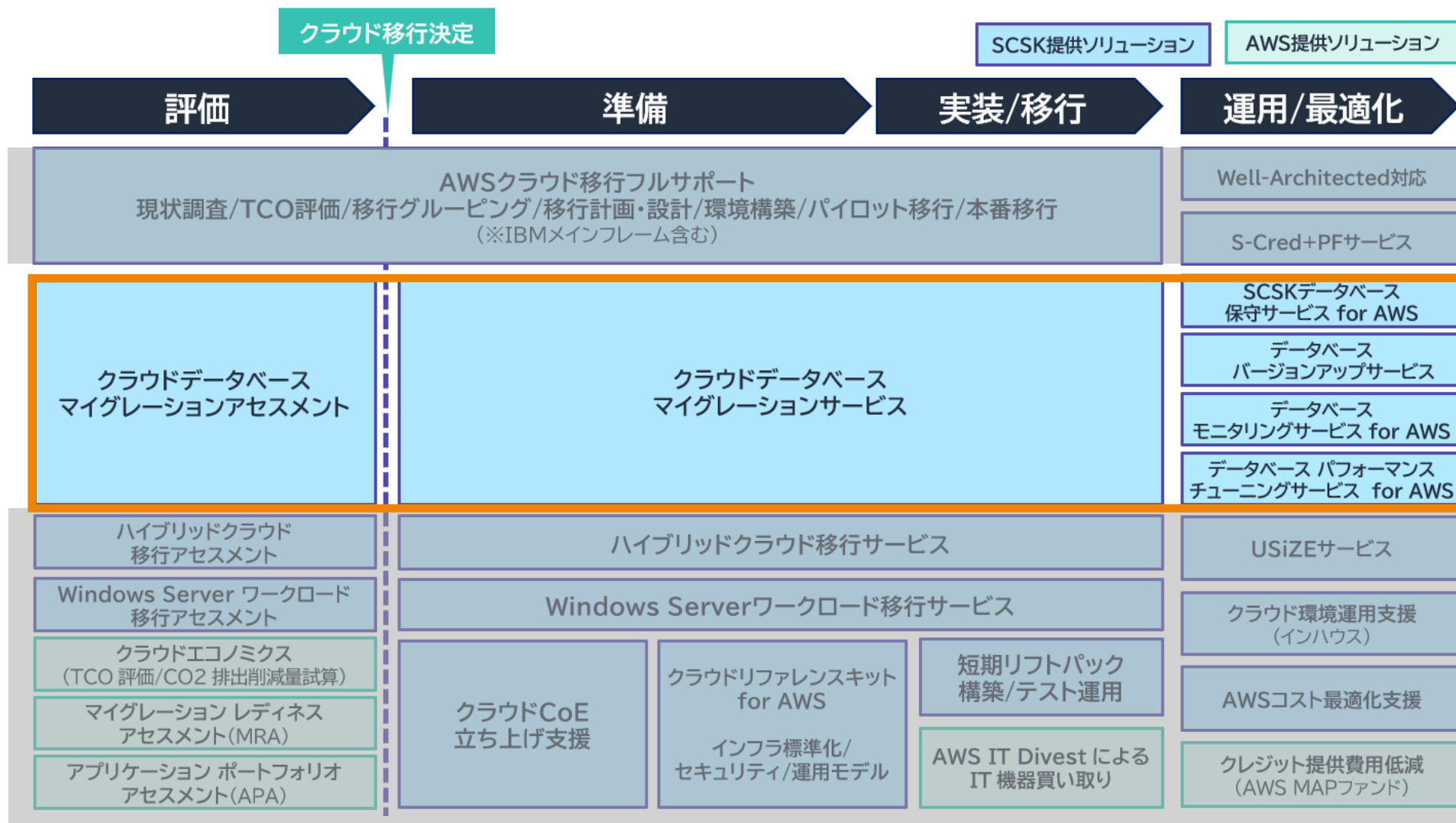
- サーバを業務システムのくくりに分類し、移行スケジュールを検討。
- 移行途中のオンプレ側との通信要件なども整理。

7.本番環境構築・ 移行作業

- 共通基盤環境の構築を実施、順次サーバを移行
- 移行プランに従い、業務影響を最小限にした安全な移行を目指す。

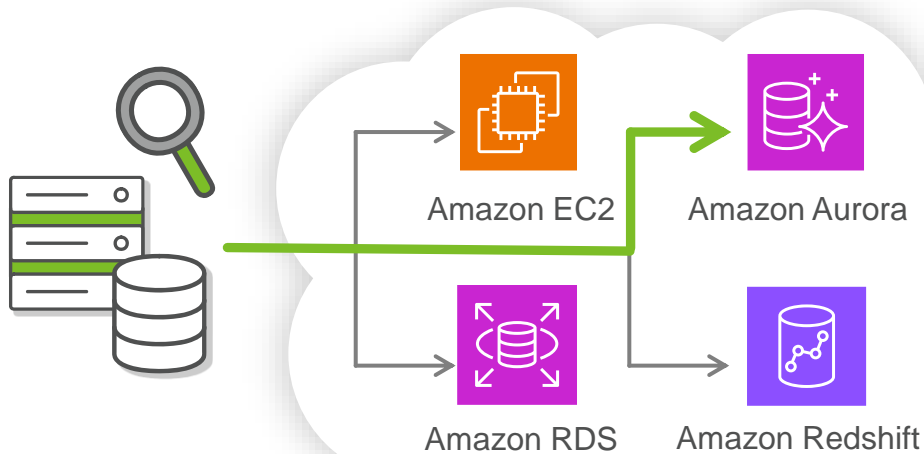
各プロセスにおいて標準化された手順を整備済。円滑な移行を支援

クラウド移行検討上DB移行は重要なポイントです。その課題解決メニューをご用意しています



DB移行支援 クラウドデータベース マイグレーションサービス SCSK

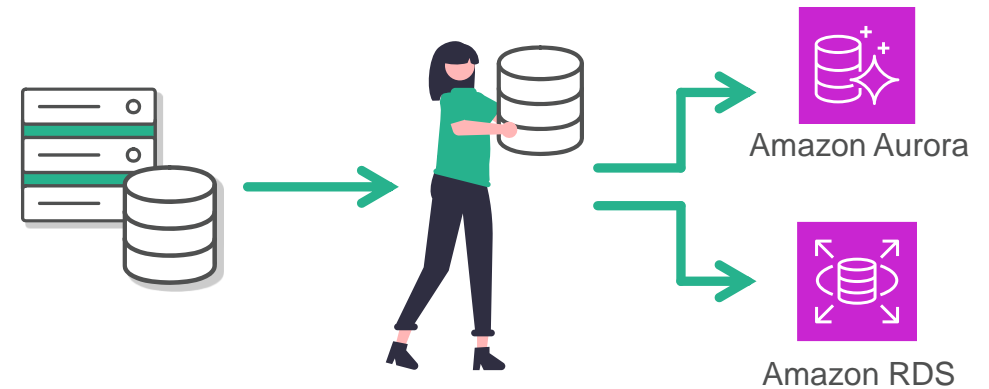
DBアセスメントによる 最適なDB選択と移行計画策定支援



- 現行環境調査による最適なサービス選択
- 異種DB移行の移行難易度評価
- 複数DB移行の全体計画支援



異種DB移行も含めた 確実なデータベースマイグレーション



- リフトからシフトまであらゆる移行に対応
- 異種DBマイグレーション対応実績あり
- SQLのコンバージョンにも対応可



Oracle DBにおけるAWS移行の選択肢

期待効果

移行難易度

小

易

中

並

大

難

0

現行

オンプレ環境

1-1

リホスト

データベースをクラウド環境へ移行

Amazon EC2

1-2

リプラットフォーム

マネージド・データベース(同DB)に移行

Amazon RDS for Oracle

1-3

リアーキテクチャ

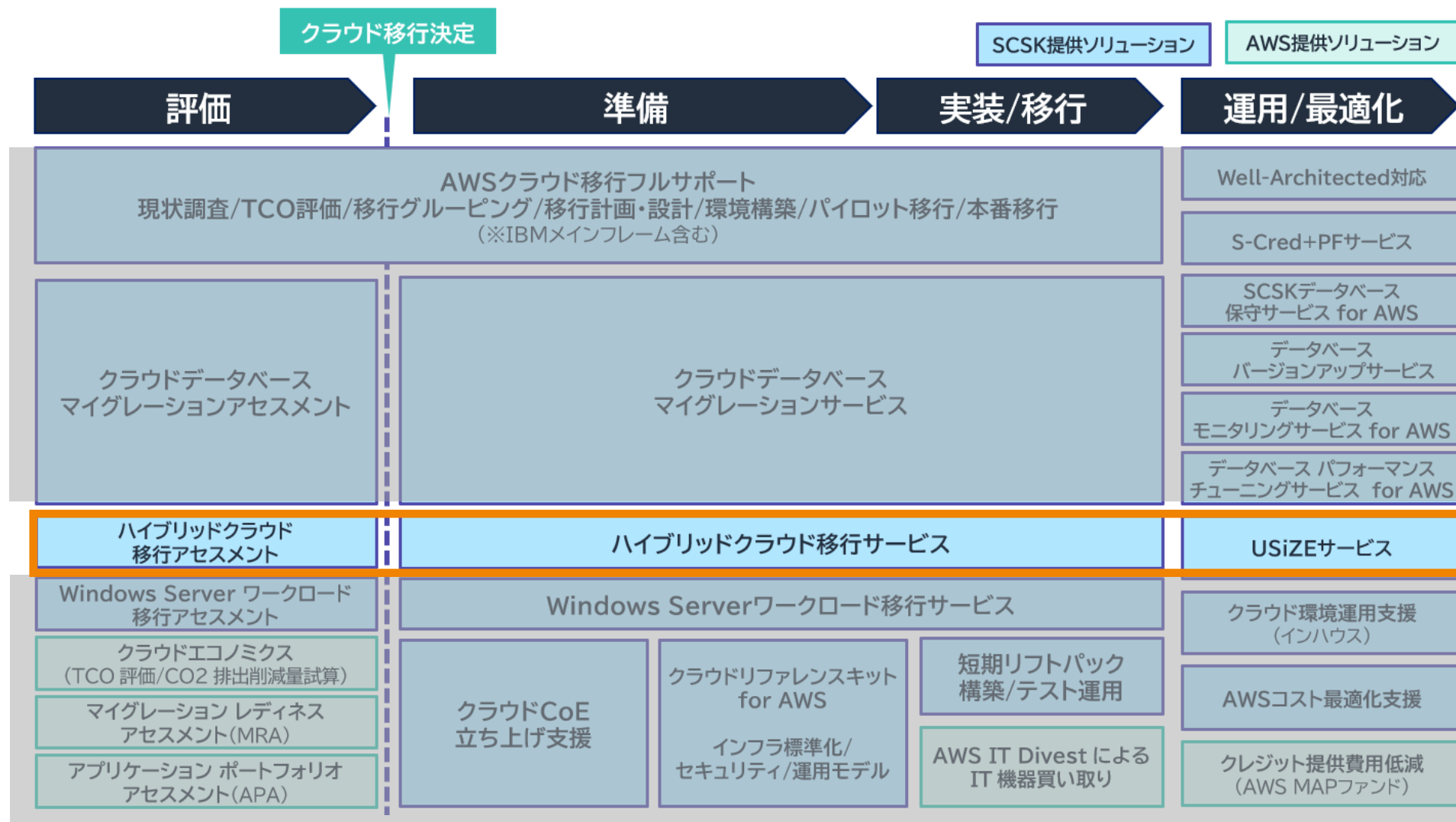
マネージド・データベース(異種DB)に移行

Amazon RDS for MySQL
Amazon RDS for PostgreSQL
Amazon Aurora

お客様環境に合わせ最適な AWS DB環境への移行を支援

ハイブリッドクラウド移行

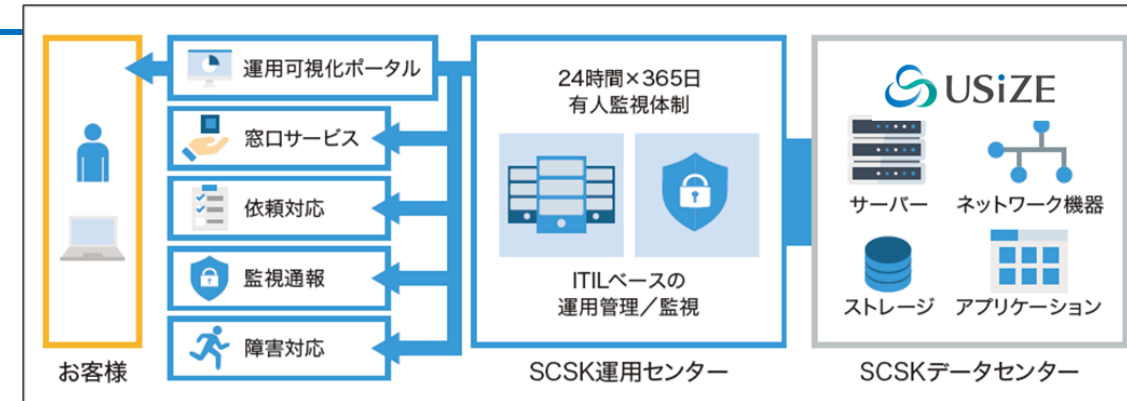
AWSと組み合わせたハイブリッドクラウドでお客様要望を満たし、課題解決します



ハイブリッドクラウド構成要素① プライベートクラウドUSiZE SCSK



ユーサイズは、SCSKが運営する国内データセンター
SCSK資産のハードウェア上に
VMwareベースで仮想環境を構築し、
ネットワークサービスや運用サービス等を付加し、
プライベートクラウドとして提供するサービスです。



VMware 値上げ影響を以下策によりお客様へは極力緩和した形でサービス提供させていただきます。

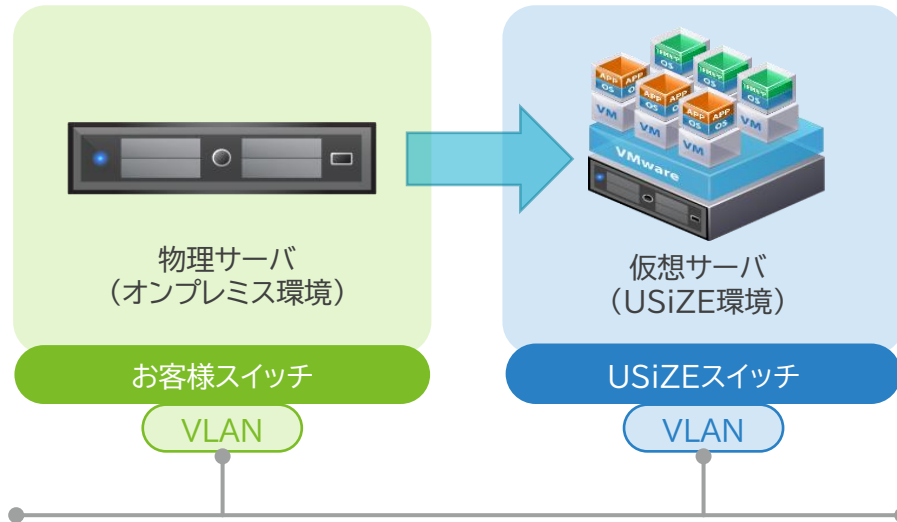
- ①SCSKにてボリュームディスカウント価格でのまとめ購入
- ②自社工夫(CPU省力化による価格影響を抑えた新プラン提供予定)

VMwareにまつわる課題に対する一つの解決策となります

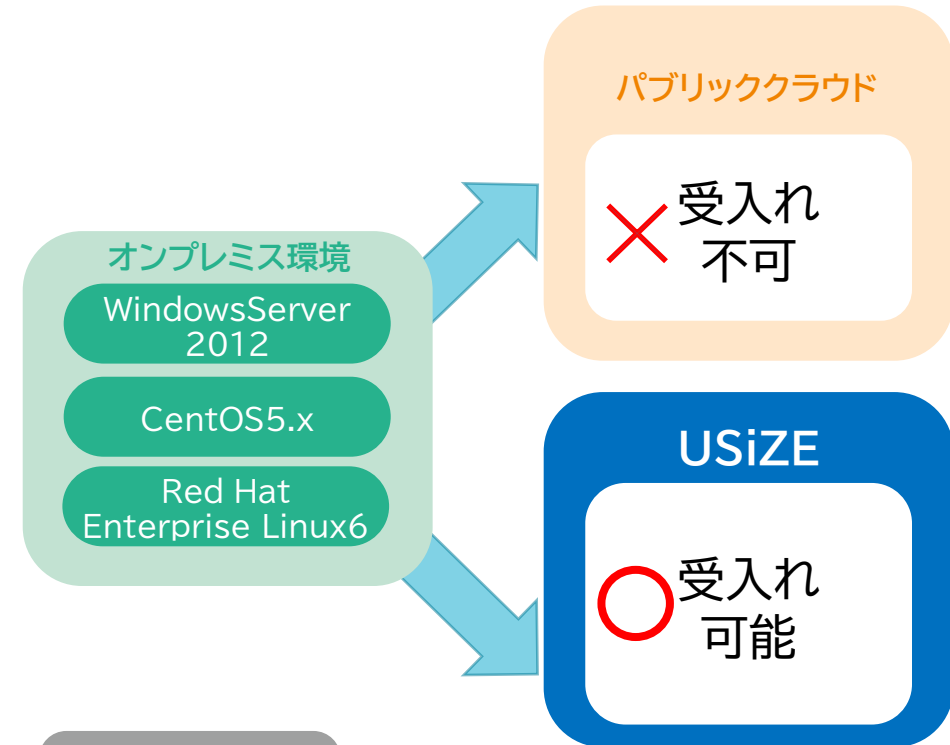
IPアドレス体系の変更不要

L2延伸接続

IPアドレス体系変更なく
オンプレミス環境からそのまま移行可能



サポート切れOSの受入れ



注意事項

- 上図の記載OSは一例です。移行や稼働を保証するものではありません。
- 古いOSの稼働は可能ですが、サポート不可となるため最新版の利用を推奨いたします
- ポータル操作対象外、各オプション利用等に制限がございます

現在のお客様環境をそのまま移行できます

ハイブリッドクラウド構成要素② マルチクラウド接続サービス SCSK

SCSKデータセンター内でパブリッククラウドとのプライベート接続を実現する

SCNX(sCSK Cloud netXchange)

- **AWS**、M、Oはクラウド接続点より**直接接続**が可能
- GはBBIX(IX事業者)経由で閉域接続が可能
- USIZEとSCNXは物理接続済



パブリッククラウドへの接続費、品質でお悩みのお客様に対し訴求できるサービス

ハイブリッドクラウド構成要素③ データセンター



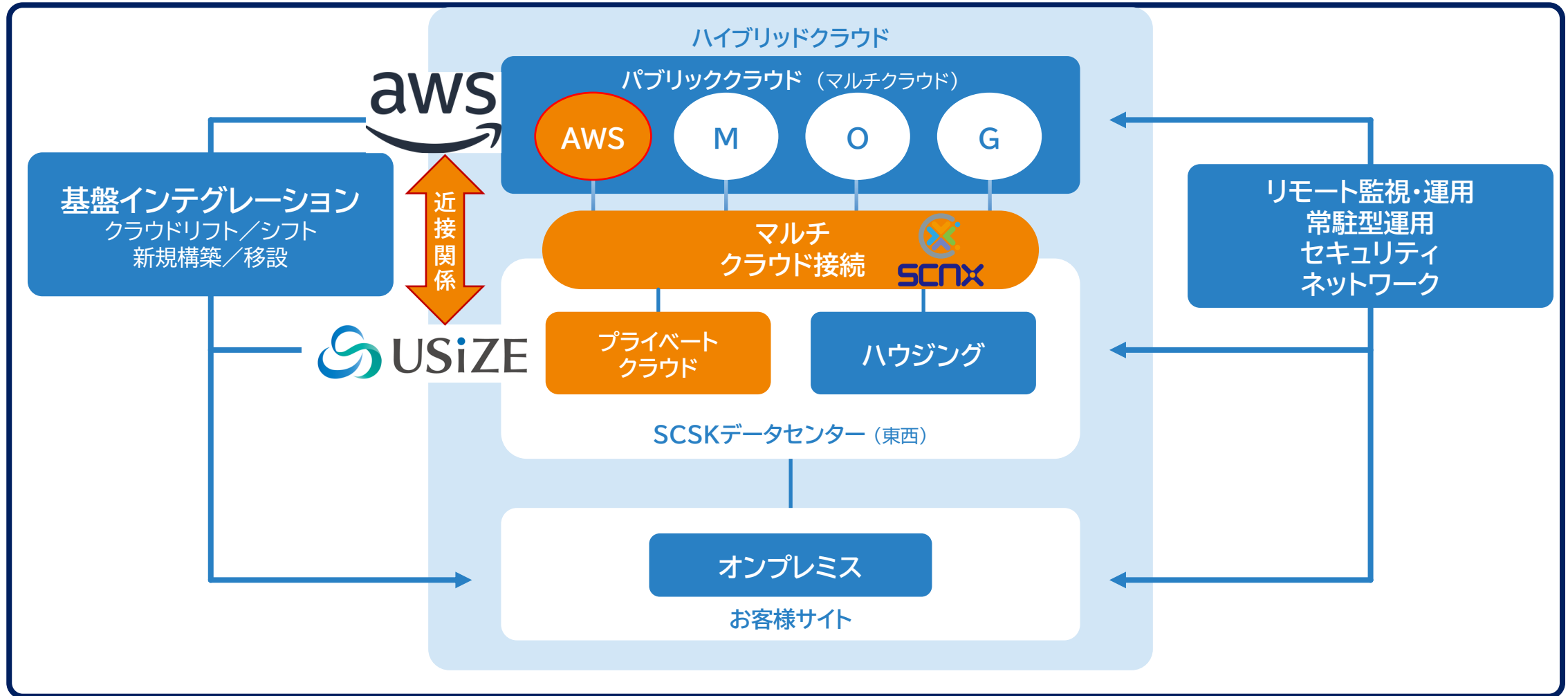
全国7拠点、10センター、総床面積 約95,000m²



netXDCはSCSKのデータセンター関連サービスのブランド名称です。

ハイブリッドクラウドおよびマルチクラウド戦略の基幹拠点

ハイブリッドクラウド構成イメージ AWS+SCNX+USiZE **SCSK**

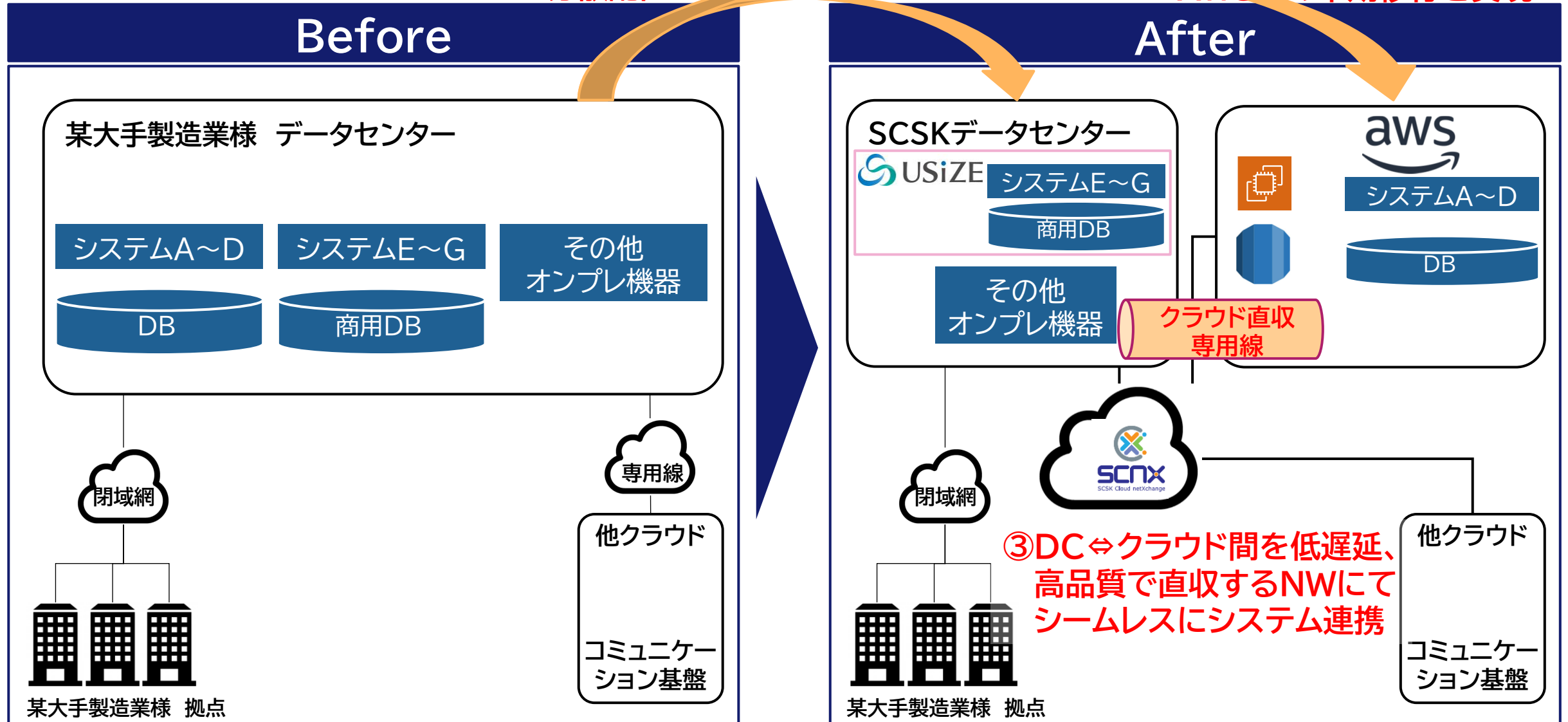


真のハイブリッドクラウド環境を提供。他社にはない強み

ハイブリッドクラウド環境移行事例 大手製造業様

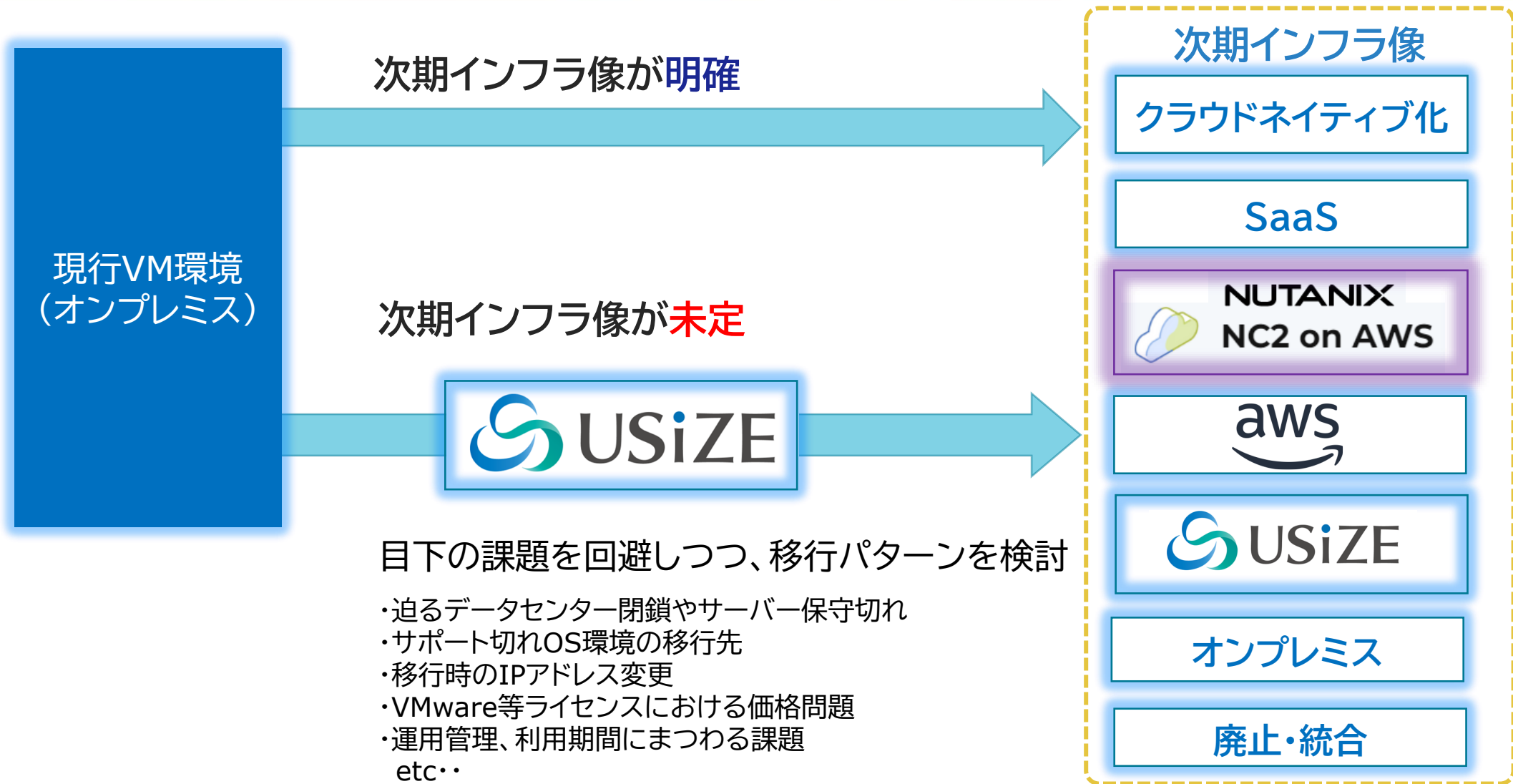
①移行先仕分けの上、AWS/USiZE/オンプレミス
にハイブリッドに分散配置

②移行テンプレートを用いた
AWSへの早期移行を実現





時間に制限ある際は、既存環境を変更しないリホストも選択肢



あるべき次期インフラへの選択肢を 多数ご提案できます



オンプレミス VMware 基盤の維持に課題を抱えているお客様向けに無料相談窓口を設けております。
ご相談頂いたのち「USiZE」へ移行いただいたお客様向けに、

毎月最大 **100** 万円の割引をさせていただきます。

- ー割引は利用開始から 1 年間とします
- ー割引額は「移行してきた USiZE サービス利用料の 20%」で、毎月最大 100 万円とします
- ー本キャンペーンの申し込みは上限に達した時点か、2025 年 3 月末にて終了させていただきます

是非キャンペーンをご活用頂き、円滑な移行をご支援させていただきます

お客様課題を解決する為には
もう一歩先のクラウド活用へ



ITX for MCP SCSK版 が最適解

- クラウド移行フルサポート
- クラウドデータベースマイグレーションサービス
- ハイブリッドクラウド移行(USiZE、AWS、NC2 on AWS)

VMware環境から
クラウドへの速やかな移行をご検討でしたら
お気軽にご連絡ください

SCSK クラウド営業窓口

cbdc-all@scsk.jp



Create Our Future of Dreams